基本術式

ここから、初歩的な術式や病巣の処置手順、注意点を解説していく。
待ち受ける困難かつ複雑な手術の執刀を手際よく進め、
成功へ導くための基礎知識として役立てよう。

基本術式ページの見方

異物除去 1 使用器具

傷 2 さった異物を除去、回収する際の基本の術式。 ットで異物をつかんで引き抜いたあと、画面右側に表示される回収トレイへと運ぶ。その後、傷痕にヒールゼリーを塗れば完了となる。ここで判定されるのは「抜き角度」と「抜きミス回数」、「トレイに運ぶときに異物を落とした回数」の3点。異物が刺さっている傷に対してほぼ垂直(88～92度)で抜けば*Cool*、ミスにならない角度(85～87、93～95度)で抜けたら*Good*になり、角度が悪いと即*Bad*となる。なお、抜いたあともしっかりと異物をつかんでおき、回収トレイにポインタカーソルの光点が当たる位置まで移動させてから離せば、異物を術野に落とすミスは起こさずにすむ。

●異物除去の手順 3

❶ ピンセット ……異物を抜く
❷ ピンセット ……異物をトレイに運ぶ
❸ ヒールゼリー …傷に塗る

評価・判定ポイント 4
・傷に対してほぼ垂直に異物を摘出
・摘出時にミスをしない
・異物を落とさずトレイに運ぶ

❶ピンセット
FORCEPS
異物を一度つかんだら離さずに抜き切ること。離すとMissになり、その時点でCoolは取れなくなる。

❸ヒールゼリー
ANTIBIOTIC GEL
異物を抜き取ったあとに残る傷痕は、出血線・小のときと同様にヒールゼリーを塗って治療する。

1 名称と使用器具
術式および病巣の名前。名称右側のアイコンは、これらを処置する際に使用する手術器具を示す。

2 解説文
術式および病巣の特徴、執刀時の注意点などを詳細に解説した文。

3 処置手順
術式および病巣の処置手順。各手順において使用する手術器具と処置方法を示し、必要な場合は画面写真によって補足説明する。

4 評価・判定ポイント
術式および病巣の処置を高評価で成功させるために、知っておくべき注意事項。

バイタル回復

使用器具

注射器を選んで患部に回復剤を投与する。バイタル低下を招く術式のまえには、必ず行なっておきたい。なお、多少だがヒールゼリーにもバイタル回復の効果がある。緊急の場合はそれも活用するといい。

●バイタル回復の手順

❶ 注射器 ………患部に薬を打つ
— ヒールゼリー…患部に塗る

❶注射器
SYRINGE
次の手順に移るまえに回復し、患者のバイタルを安定させる。その慎重さが手術を成功へと導く。

出血線・小

使用器具

異物を抜いた痕やメスでつけた小さな傷口などは、ヒールゼリーをその患部に塗布することで治療することができ、縫合する必要はない。術野に複数の切り傷がある場合は、一気にまとめて処置しておこう。

●出血線・小の手順

❶ ヒールゼリー…傷に塗る

❶ヒールゼリー
ANTIBIOTIC GEL
画面に*Ok*と表示されれば処置完了だが、患部から外れていると時間がかかってしまうので注意したい。